

プログラム

1. F. Kreisler/ Prerudium und Allegro, Schön Rosmarin, Liebesfreund

クライスラー/プレリュードとアレグロ

美しきロスマリン 愛の喜び

2. O. Monti/ Csárdás

モンテイ/ チャルダシュ

大橋 あゆみ (バイオリン) Ayumi OHASHI (Vn.)
徳本 美智子 (ピアノ) Michiko TOKUMOTO (Pf.)

《 休憩 》

3. R. Schumann/ Dichterliebe (C. Heine)

シューマン/「詩人の恋」(ハイネ)

横山 和彦 (テノール) Kazuhiko YOKOYAMA (Ten.)
横山 美恵 (ピアノ) Yoshie YOKOYAMA (Pf.)

横山 和彦 (テノール)

Prof. Kazuhiko YOKOYAMA (Ten.)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒、同大学院独唱科修了。ウィーンに国費留学し、ウィーン国立音楽大学オラトリオ・リート科W. モーア教授の下で研鑽を積む。リサイタルの他宗教曲・オペラ出演多数。日本演奏連盟会員・東京学芸大学教授



大橋 あゆみ (バイオリン)

Ayumi OHASHI (Vn.)

東京音楽大学卒業、同研究科修了。ライブツィヒ音楽大学R. バルディーニのマスタークラス修了。つくばと東京でソロとアンサンブルの著明活動を行っている。つくば市在住

横山 美恵 (ピアノ) Yoshie YOKOYAMA (Pf.)

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。松崎伶子、塚越淑子両氏に師事。夫横山和彦(現 東京学芸大学教授)と共にウィーンに留学、ワルター・モーア教授の薫陶を受ける。帰国後後進指導の傍ら、夫和彦、娘和美(ソプラノ)、合唱の伴奏者として数多くの演奏会に出演。コールブリランテ常任伴奏者



徳本 美智子 (ピアノ) Michiko TOKUMOTO (Pf.)



国立音楽大学ピアノ科卒業。ピアノをクロイツァー豊子氏、T. シューマーカー氏、遠山慶子氏に師事。1989年以来、草津夏期国際音楽アカデミーに参加。ピアノをK.シルデ、E. A. ピヒト、E. ハイドシェック、J. C. ペヌティエ、B. カニーノ氏らに、チェンバロをE. デーラー氏にレッスンを受ける。ソロ、室内楽、伴奏で活動している。つくば市在住

近代詩曲の会は、筑波大学人工知能研のプシケ（Psyche）計画と連携して、音楽情報研究を支えつつ、先覚者達†と共に、つくば市‡を一流の文化芸術都市にするための活動を続けて来ました。

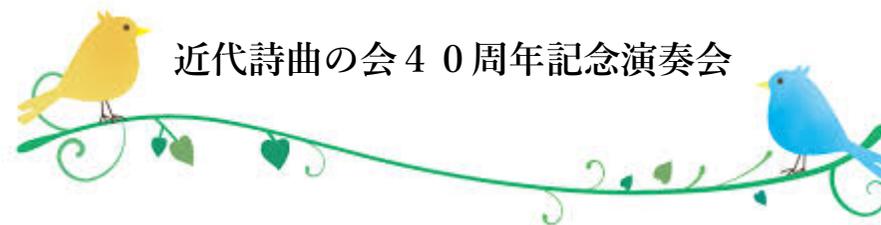
研究者自身だけでなく、その家族とコミュニティ住民が、精神的に豊かな市民生活をして居なければ、良質なアイデアに富んだ研究は期待できないし、内外から、特に海外から一流の学者・人材——本人も家族も高い文化芸術を享受する生活を望む。——を招くことも、優秀な後継者を育てることも不可能です。

科学研究だけ一流、文化は三流の町では、早晚前者も行き詰まり二流化することは、少なくとも最近発達が著しい人工知能分野が、知性に劣らず感性ひいては精神性さえも扱うことを見れば、一般市民の皆様にも予見しやすくなって来ているのではないのでしょうか。（SI）

† 1976年から筑波大学では、教員の協力の下に、公費と職員を使って大学会館ホールを開放して学園都市音楽会を開催し、ノバホール(これも当時の桜村の先覚者による。)での市民文化祭等の音楽活動の進展を見た上で、第50回を以って終了し、それを発展的に継承したムジカフェスタは今年26回を迎えた。近代詩曲の会は創設段階からこれらにも参画し寄与して来た。

‡ 文化・芸術は行政上の市域に拘らず、広域的に筑波研究学園都市——別の呼び方の一つは「**グレーターつくば**」——のコミュニティ理念と市民精神に基づいて発展させるべきものと考えられる。

※ 本日のリサイタルは、つくば市文化協会と近代詩曲の会が主催し、つくばソロ演奏者連絡会が後援しています。



近代詩曲の会 40周年記念演奏会

横山 和彦

テノール リサイタル

賛助出演 大橋 あゆみ (バイオリン)

令和元年9月16日

於 ホテルグランド東雲「ガーデン」の間